

インフラの防災・維持管理を担う 技術者のための基礎講座

受講料無料

土木・建設関係技術者対象

建設コンサルタンツ協会
CPD認定プログラム

近年、頻発・激甚化している自然災害リスクの増大や老朽化インフラの増加など、地域を支えるインフラの課題が顕在化しています。本プログラムは、インフラの防災や維持管理業務を担う技術者の基礎技術力の向上とともに、最先端の技術やその応用に関する講座を通じて、技術者のスキルアップを支援することを目的としています。

2026年度のプログラムでは、計5回の基礎講座を開催いたします。1回だけの参加も可能です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

	講座名	開催日時	講師名
1	温度制御可能な実験室に設置した载荷装置によるインフラ構造部材の実験	11月4日(水) 18:30～20:00	北見工業大学 准教授 齊藤 剛彦
2	大きな地震力が発生した際の橋の破壊形態と設計上の考え方	11月10日(火) 18:30～20:00	北見工業大学 准教授 門田 峰典
3	寒冷地河川におけるアイスジャム現象に関する研究	11月16日(月) 18:30～20:00	北見工業大学 教授 吉川 泰弘
4	コンクリート構造物の劣化原因と維持管理～北海道の特徴を踏まえた長寿命化へのアプローチ～	11月26日(木) 18:30～20:00	北見工業大学 客員教授 今村 晃久
5	土工構造物が抱える課題と新たな技術開発への取り組み～河川堤防の強化技術・補強土壁の維持管理手法構築への研究を例に～	12月1日(火) 18:30～20:00	北見工業大学 助教 三鍋 佑季

□受講料：無料

□実施方法：オンライン(Microsoft Teamsによるライブ配信)

(※人数制限はありません。データ通信料は各自の負担となります)

□申込方法：受講希望の方は右記のQRコードまたは下記URLからアクセスして、お申込みください。

<https://forms.gle/FFDHqcnmwcYT3w7c6>

※10/30(金)締切

□建設コンサルタンツ協会CPDプログラムに認定されています。

□問合せ先：北見工業大学工学部社会環境系・井上真澄宛
(北海道国立大学機構リカレント教育講座担当教員)

TEL：0157-26-9513／E-mail：m-inoue@mail.kitami-it.ac.jp

受講申込フォーム



主催：北海道国立大学機構(小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学)

第1回 基礎講座

●開催日時 2026年11月4日(水)18:30～20:00

●講演テーマ

温度制御可能な実験室に設置した載荷装置によるインフラ構造部材の実験

●講演者 齊藤 剛彦(北見工業大学・准教授)

●講演者略歴

2012. 3 : 徳島大学大学院博士後期課程 修了 博士(工学)

2012. 4 : 徳島大学環境防災研究センター 技術補佐員

2012.10 : 北見工業大学工学部社会環境工学科 助教

2020. 4 : 北見工業大学工学部社会環境系 准教授

●講演概要

寒冷地工学の拠点を目指す北見工業大学には、近隣地域や極域の極寒の環境をシミュレートするための低温実験室がいくつもあります。その中でも-30℃から+50℃の範囲で温度を制御でき、構造部材を対象に載荷実験ができる大型の載荷装置が2種類備わった実験設備があります。本講座ではこの実験設備でおこなわれた各種実験で得られた成果と課題を紹介します。

●Teams URL : 参加登録者へ後日配布

第2回 基礎講座

●開催日時 2026年11月10日(火)18:30~20:00

●講演テーマ

大きな地震力が発生した際の橋の破壊形態と設計上の考え方

●講演者 門田 峰典(北見工業大学・准教授)

●講演者略歴

2008.3 北見工業大学大学院 工学研究科 博士前期課程 修了

2017.9 北見工業大学大学院 工学研究科 博士後期課程 修了

2008.4 株式会社オリエンタルコンサルタンツに入社

2022.5 北見工業大学 助教

2026.4 北見工業大学 准教授

資格：博士(工学)，技術士(建設部門)，土木鋼構造診断士，橋梁点検士等

専門：橋梁工学，鋼構造

●講演概要

最大震度7クラスの地震が相次いで発生している。早期の災害復旧のため、緊急輸送道路の一部となる橋梁には、地震直後の性能の評価が重要となる。本講座では、鋼鈑桁橋の支点部を対象に、地震による部材の破壊イベントや耐荷性能の評価、設計方法の考え方について紹介する。

●Teams URL：参加登録者へ後日配布

第3回 基礎講座

●開催日時 2026年11月16日(月)18:30～20:00

●講演テーマ

寒冷地河川におけるアイスジャム現象に関する研究

●講演者 吉川 泰弘 (北見工業大学・教授)

●講演者略歴

2002年北見工業大学大学院博士前期課程修了。国土交通省北海道開発局、寒地土木研究所での研究員を経て、2011年同大学にて博士（工学）を取得。専門は河氷の形成と流下機構に関する研究。2012年北見工業大学助教、2018年准教授を経て、2024年4月より同大学工学部教授（現職）。近年は、北海道河川でのアイスジャム現象の事前予測研究や、ジュエリーアイスの出現予測等の研究を実施。

●講演概要

冬期の寒冷地の河川では、気温の低下に伴い河道内に河氷（かひょう）が形成されます。河氷が形成された後に、気温が上昇すると河氷は融解・破壊されて解氷に至り、河氷が下流へと流れて河道内で堆積すると、流水を堰き止めて水位上昇を引き起こすアイスジャムが発生します。本講演では、北海道河川におけるアイスジャム現象が「いつ」「どこで」「どの程度の規模」になるかを事前予測する研究について紹介します。

●Teams URL：参加登録者へ後日配布

第4回 基礎講座

●開催日時 2026年11月26日(木)18:30～20:00

●講演テーマ コンクリート構造物の劣化原因と維持管理
～北海道の特徴を踏まえた長寿命化へのアプローチ～

●講演者 今村 晃久(北見工業大学・客員教授)

●講演者略歴

1982.3 北海道大学工学部土木工学科 卒業、同年.4 ドーピー建設工業株式会社 入社、1994.4 DSI AG (ドイツ連邦共和国) 出向 (～1995.9)、
2001.3 北海道大学大学院工学研究科 博士後期課程 修了、2006.8 株式会社 開発工営社 入社、現在、同社 技術顧問、技術士(建設・総合技術監理部門 鋼コン)、土木学会フェロー会員、土木学会認定特別上級土木技術者(鋼コン)、コンクリート診断士、コンクリート構造診断士、土木鋼構造診断士

●講演概要

これまで多くの社会インフラが整備され、膨大なストックになっている状況で、その維持管理の重要性は、多くの方々に認識されております。本講座では、橋梁を中心としたコンクリート構造物の維持管理を行う上で必要となる変状・劣化の原因とその調査・診断の基礎的事項を北海道の特徴を交えて紹介したいと考えております。

●Teams URL : 参加登録者へ後日配布

第5回 基礎講座

●開催日時 2026年12月1日(火)18:30～20:00

●講演テーマ

土工構造物が抱える課題と新たな技術開発への取り組み
～河川堤防の強化技術・補強土壁の維持管理手法構築への研究を例に～

●講演者 三鍋 佑季 (北見工業大学・助教)

●講演者略歴

2017.3 北見工業大学大学院博士前期課程修了
2017.4 北海道電力株式会社 入社
2025.3 北見工業大学大学院博士後期課程修了
2025.4 北海道電力株式会社 退社
2025.5～ 現職

●講演概要

河川堤防と補強土壁は異なる構造物ですが、どちらも「土」で構成される構造体であり、ひとたび被災すれば甚大な社会的・経済的損失をもたらす重要インフラであることに変わりはなく、「粘り強さ（レジリエンス）の確保」が重要視されています。本講座では、これら土工構造物が抱える諸課題の概要、それら課題に対応する近年の動向および新たな技術開発への取り組みについて、この2つの構造物を対象にした研究例をもとに紹介します。

●Teams URL：参加登録者へ後日配布